

【ブロックチェーンに基づく分散合意制御の使用】 Trans Active Grid

①要約：

このアイデアはブロックチェーン技術を用いて電力の取引を効率化し、電力会社を介さずに直接取引が可能となるシステムを提案しています。スマートコントラクトが取引内容を記録し、契約の履行を自動化することで、取引プロセスを透明かつ信頼性の高いものになっています。

②目的：

このアイデアの目的は、電力取引市場をより効率的かつ透明なものにすることです。電力の直接取引により、中間業者のコストを削減し、消費者と発電者との間にフリクションを減らすことが期待されています。

③新規性：

このアイデアの新規性は、ブロックチェーン技術を電力の取引に応用することにあります。従来の中央集権的な取引モデルから脱却し、ピアツーピアの取引が可能となることは、これまでにない革新的な発想と言えます。

④独自性：

このアイデアの独自性は、トランスアクティブグリッドなどの関連企業が提案している点にあります。既存の電力会社や中間業者を排除し、直接取引を可能にするという発想は、従来のビジネスモデルとは異なるものです。

⑤経済価値：

このアイデアの経済価値は、取引プロセスの効率化、透明性の向上、および中間業者を排除することで生じるコスト削減にあります。電力の直接取引により、取引コストが低下し、消費者にとってもよりリーズナブルな価格で電力を購入できる可能性があります。